



歴史を歩く 55

～ おおさきの歴史を旅してみませんか ②①
 ～ 移住の歴史と開拓の精神が息づく地域(野方荒佐野) ～ ②

5 照日神社

元禄2年(1689年)に荒佐野移住者を統率していた大坂奉行出原次左衛門が伊勢神宮から神霊を勧請して、山頂に『伊勢神社』を創建したのが始まり。明治8年(1875年)に現在の志布志市有明町平野にあった野方村社『照日神社』と合祀した。大崎名勝誌によると祭神は、天照皇大神・八幡大菩薩・春日大明神・住吉大明神・熊野大権現



6 火の神

左は寛政3年(1791年)に建立されたもの。



7 稲荷神社

大正4年(1915年)に建立。現在展望台の立地する丘にあったが、昭和35年(1960年)に貯水タンク建設に伴い、現在の場所に移る。五穀豊穡の神。



照日神社周辺



8 創住記念碑

大正15年(1926年)に荒佐野移住開墾に成功した祖先の偉業を伝えるため、建てられたもの。移住のいきさつが記されている。